

平成28年11月30日

比企広域市町村圏組合東松山斎場施設整備事業  
火葬炉設備選定プロポーザル選定結果・審査講評

比企広域市町村圏組合  
火葬炉設備選定委員会  
委員長 酒井 辰夫

1 工事概要

- (1) 工事名 比企広域市町村圏組合東松山斎場施設整備事業火葬炉設備工事  
(2) 工事場所 東松山市松山町二丁目8番32号ほか  
(3) 選定方式 公募型プロポーザル  
(4) 発注者 比企広域市町村圏組合 管理者 森田光一

2 選定委員会

適正かつ、公平に業者を選定するため、学識経験者、地元自治会選出者、構成市町村及び組合職員による新斎場火葬炉選定委員会を設置し、特定に係る審査を行いました。

(1) 選定委員会名簿（順不同・敬称略）

| 委員区分  | 氏名     | 役職等            |
|-------|--------|----------------|
| 委員長   | 酒井 辰夫  | 東松山環境管理事務所所長   |
| 委員長代理 | 小谷野 政男 | 東松山市政策財政部部長    |
| 委員    | 伊藤 勝   | 東松山市環境保全課課長    |
| 同上    | 堀口 幸男  | 滑川町環境課課長       |
| 同上    | 高橋 診   | 地元自治会滑川町羽尾1区選出 |
| 同上    | 新井 久夫  | 比企広域市町村圏組合事務局長 |

(2) 審査経過

| 日付          | 内容       | 備考           |
|-------------|----------|--------------|
| 平成28年7月7日   | 第1回選定委員会 | 説明書、基本仕様書の審議 |
| 平成28年8月25日  | 第2回選定委員会 | 第1次審査、評価要領審議 |
| 平成28年11月10日 | 第3回選定委員会 | ヒヤリング、第2次審査  |

### 3 選定スケジュール

- (1) 募集の公告 平成28年 8月 1日 (月)
- (2) 参加表明書提出締切 平成28年 8月19日 (金)
- (3) 第一次審査 平成28年 8月25日 (木)
- (3) 技術提案書提出締切 平成28年10月11日 (火)
- (4) 第二次審査 平成28年11月10日 (木)

### 4 選定方法

#### (1) 第一次審査

提出された参加表明書をもとに、必要書類及び資格要件について審査し、全ての提出者について第二次審査の対象者と決定しました。

#### (2) 第二次審査

提出された技術提案書を評価要領に基づき審査を行い、プレゼンテーション及びヒヤリングを経て総合的に判断し、最優秀者及び優秀者（次点者）を特定しました。

### 5 選定結果

次のとおり、最優秀者及び優秀者（次点者）を特定しました。

|          |            |
|----------|------------|
| 最優秀者     | 富士建設工業株式会社 |
| 優秀者（次点者） | 株式会社 宮本工業所 |

### 6 講評

東松山斎場施設整備事業火葬炉設備工事において、優れた技術水準及び実績を持ち、新斎場運営に熱意と責任をもって対応できる施工者について技術提案書を募ったところ、三者から参加表明書及び技術提案書の提出がありました。審査は資格審査、技術提案書、プレゼンテーション及びヒヤリングにより慎重かつ公正な評価を行い、選定委員会の総意により特定者を選定しました。

国内でも火葬技術が非常に高い三者から技術提案書の提出をいただきました。いずれも本組合の求める基本仕様書の水準を十分に満足し、公害防止対策が十分に図られ、安全性及び環境に配慮した信頼性の高い設備を提案いただきましたことに感謝申し上げます。

最優秀者の提案は本組合の基本構想及び基本計画に即した提案であり、基本仕様書における公害防止対策、ご遺体への配慮はもとより緊急時の対応などが高く評価されました。

供用開始後のアフターサービス体制については、地元企業との連携体制を具体的に示された提案でした。また当該事業への実施体制については、プロジェクトチームによる実施体制の構築など事業の推進に期待の持てる提案でした。

今後、技術提案を基に同時に実施している建築設計業務との連携を図ることになります。が、本事業の完成度の向上に協力いただくことを期待するものです。

優秀者の提案は、特許を取得した主燃焼炉構造や火葬炉専用開発したバーナーなど新技術が評価されました。

今回最優秀者、優秀者に選定されませんでした社の提案につきましても、優秀な制御システムにより火葬炉の自動化、ご遺体への心情配慮が評価されました。

最後に、技術提案をいただいた三者については、多大な労力と時間をかけての提出資料の作成及びヒヤリングへの参加をいただき、改めて感謝を申し上げます。